

少子化社会の今を生きる若者たち 社会人2人・大学生8人の声

表紙の写真のメッセージは「もっと子育てしやすい社会」とは？を一言で書いていただいたものです。

Q いずれは結婚したい？

室田 僕は自由でわがままな人間なので、結婚はしたくないです。子どももあまりほしいと思わないですね。育てる自信がない。

大谷 僕は子どもが好きなので、子育てをしたいです。独身だと自分の老後が不安だし、家族は自分の中で大事なものである。



大学4年生
 伊東理恵子さん 今川智博さん
 内田憲孝さん 大谷昌弘さん
 岡田将洋さん 中塚悠斗さん
 室田裕次郎さん 山本有希子さん

Q 少子化の理由は何？

室田 僕は子どもを産み育てることは経済的に合理性があると思えない。

大谷 ベビーブームの反動では？

今川 子どもがいなくてもよいという価値観が増えてきたのかも。

伊東 経済状況を考えれば責任を持って子どもを育てられない」と判断した結果だと思ふ。

中塚 年金の問題とかはあるけれど、少子化が身近な問題だと思えない。子どもを2人以上もてば、自分に関しては問題ないような気がしてしまうとか。

山本 社会全体としては問題だけど、結婚する、子どもを産むというのは個人の自由だと思うので、しない人がいるのは仕方ないと思う。ただ、「したいのにできない」という状況は改善すべきだと思う。

内田 個人が自由に選択するものだから、未婚化・晩婚化・少子化の解決は困難ですね。

大谷 子どもを産み育てたいと思える環境づくりを行うべきだと思ふ。



「もっと子育てしやすい社会」とは？

伊東理恵子さん
 現在は、仕事しすぎな社会だと思います。もう少し貧しくても体がボロボロにならずに生きていける社会になってほしいです。

子育てに関する理解を共有できる社会。子どもへの虐待につながるようなストレスのない社会。
(中塚悠斗さん)

リカバリーというか、再挑戦というか、何かあってもまたやり直せる社会というのは大切だと思います。
(今川智博さん)

人々が互いに余裕をもって、大目にみることができる社会。「認める」と「優しさ」が尊重される社会。社会が人を大切にしようとする、もっとよくなると思います。知足安分できる社会。
(岡田将洋さん)

例えば子どもを連れていても、妊娠していても、疲れていても席を譲ってもらえず、若いからってという理由で大事にしてもらえないのを感じます。小さな思いやりでも子育てする力になると思っています。

子育て支援が充実すればいいと思えます。例えば育休をとりやすくするとか保育所の整備とか。
(内田憲孝さん)

「職住近接」した社会。コンパクト・シティ。
(室田裕次郎さん)

地域との繋がりがあがる社会。困ったときは助け合える環境があればいいですね。障がいがある人や、子どもに対しての偏見もなくなればいいと思います。
(大谷昌弘さん)

育休や有休をもっと負目なく、自然にとれる企業が増えてほしい。私も含めて周囲には、子育てしながら働きたい女性は多いです。
(山本有希子さん)



齋藤こころさん (23歳)
 20歳で結婚。夫とコンビニ経営。

結婚して

Q. これまでの人生の選択については？
 人生の選択は自由にしてきたと思っています。結婚とかも自由に選べましたし。今は仕事が忙しくて、残念ながら子どもをつくることは後回しになっています。

Q. 結婚を決めたのは？
 20歳までに結婚して赤ちゃんをもつのが夢でした。自分は長女で妹と歳が離れているため、オムツ替えをしたり、あやしたりしていて、近所の小さい子たちのお世話も好きで、早く子どもがほしいと思うようになりました。子宮内膜症といわれたこともあり、若いうちに子どもがほしいと思いました。小6の時に親が離婚して寂しかったので、両親そろって子育てしてなるべく長く子どもと一緒にいたいです。

Q. 少子化についてどう思う？
 友達にもできちゃった婚の人とか、たくさんいます。共働きで大変でも、何とかなっているの、子どもの欲しい人はつくって、頑張っていけばいいと思います。

親になって

すべての人が、お互いに偏見をなくして、相手の気持ちを考え、自分がされたら嫌なことを相手に決してしない。というのは簡単ですが、難しいのが人間だとも思っています。

鈴木涼介さん (19歳)
 18歳で結婚。とび職。妻(20歳)と息子(生後6カ月)の3人暮らし。

Q. 結婚を決めたのは？
 好きになった瞬間からです。好きになった瞬間はどういう状況だったかという...話が長くなるので、またいずれ機会があったら話します。とにかく、かなり最初のうちからこの人と結婚したいと思っていました。

Q. 少子化についてどう思う？
 深く考えたことはなかったです。少子化については違うかもしれませんが、僕は90年代の音楽が好きなので、年上の人と話が合うのですが、同世代で話が通じる人が少ないのはせつないですね。

Q. これまでの人生の選択については？
 失敗はないと思います。いや、失敗はあったかもしれませんが、後悔はないです。19歳という年が若いという人もいますが、僕はもう若くないと思います。のんびりしていたらすぐオジさんになってしまいます。そういう不安はありますが、不安になっている暇があったらまず一歩踏み出すことで、自分の人生は変わると思っています。がんばります。